

保存科学研究集会 2024
日本木材学会木質文化財研究会 2024 年度例会

「木質文化財の保存修復に関する新たな視点・最近の取組」

プログラム（予定）

令和 6 年 12 月 14 日（土） 会場：奈良文化財研究所 大会議室

9:30～	開場・受付
10:00～10:10	開会挨拶
10:10～10:45	木質文化財における生物劣化と新規な対策手法 藤井 義久（京都大学）
10:45～11:20	文化財の樹種調査結果からみつめる人と木の歩み 田鶴 寿弥子（京都大学）
（休憩）	
11:35～12:10	木質文化財「活用」の現場を支える保存科学 ～アイヌ民具と沈没船資料を中心として～ 杉山 智昭（奈良大学）
12:10～12:45	X線 CT による遺跡出土漆製品の構造解析の課題と展望 片岡 太郎（弘前大学）
（昼休憩）	
14:00～14:35	出土遺物の保存処理における漆塗膜の変形メカニズムの検討 楊 曼寧（奈良文化財研究所）
14:35～15:10	乾燥剤凍結乾燥法における出土木製品の保存処理 中尾 真梨子（奈良県立橿原考古学研究所）
15:10～15:45	出土木製品の保存処理における新たな薬剤含浸手法の試み 松田 和貴（奈良文化財研究所）
（休憩）	
16:10～16:50	総合討議
16:50～17:00	閉会挨拶

※ 講演時間、題目等は変更になる場合があります